

ぞうほももやまん

増補桃山譚

1908（明治41）年6月1日発行

災い転じてキズナ深まる♡

文禄5年7月13日（1596年9月5日）の深夜12時頃、京都付近を震源とする大地震が発生し、現在の京都から大阪、兵庫にかけて大きな被害を受けました（慶長伏見地震）。死者は京都だけでも数千人といわれ、秀吉の本城として改修を終えたばかりの伏見城も天守閣が崩落しました。このとき、秀吉から謹慎処分を受けていた加藤清正がすぐに伏見城へかけつけて忠義を見せ、秀吉を感動させたという逸話はとても有名です。本図は、このエピソードを題材とした歌舞伎の宣伝用の印刷物です。

*An Enlarged Edition of
the Story of Momoyama,
June 1, 1908*

September 5, 1596, a massive earthquake struck Kyoto, causing much damage. Fushimi Castle, just completed to be the main castle of Hideyoshi (a feudal lord), collapsed. At the news of the earthquake, Kato Kiyomasa, a retainer who had been suspended by Hideyoshi, hurried to the Fushimi Castle and showed loyalty to the lord. The picture on display is a print advertisement for a Kabuki play based on this famous episode.



箱綴舞伎
十尺番之内
秀吉海老人
遺稿の正本
ぞうほももやまの
増補桃山譚
合巻

増補桃山譚 1908(明治41)年6月1日発行

主のピンチとあらば、どこからだって駆けつける!

＼マンガみたいに場面が紹介されているよ!／



大きな地震だったな...
あっ!お城の方角にケムリ
がみえる!秀吉さまが危ない!

との、それがしか
お助けに参りま

遅れてやって来た石田三成

げっ、もう来てる...

清正、大義であつた。
これからもワシに仕えておくれ。

ありがたき幸せ。

クイズ:この人はだれでしょう?
ヒントは着物に書かれた文字



①



②



③



④

明治時代に上演された歌舞伎の広告です。

【あらすじ】
豊臣秀吉が天下を治めていた時代、秀吉は朝鮮に戦いを挑んでいました。しかしそれをめぐって家来の加藤清正と石田三成が対立、三成は秀吉に清正の悪口を言いつけます。怒った秀吉は、清正を大坂城から京都へ追い出しました。

ところがそんな時、大きな地震がおこります。清正は誰よりも早く、秀吉の元へ向かうのでした。

(※この物語はフィクションだと言われています)

【加藤清正ってどんな人?】
豊臣秀吉に古くから仕えた武将。後に熊本城の主として城の設計も手がけました。